

さいたま市市民活動サポートセンター広報誌

サポセン通信

vol.22

発行：2026年3月



さいたま市市民活動サポートセンター フェスティバル

- ・さいたま市のみんなが
手を取り合ってつながる♪
- ・教育・福祉・環境・文化・ITなど
様々なジャンルが集まる2日間！
- ・地域の市民活動を知って体験して楽しもう

入場自由 & 無料

3/7(土)8(日)

10:00~16:00

ブース展示



気になる活動団体に直接話を聞いて、交流できます。一部ブースでは軽食の販売もあります。
※写真は昨年の様子です

体験& ワークショップ



ハンドメイド作品作り、ミニゲーム、昔遊びの体験など様々なワークショップを開催します。
※写真は昨年の様子です

ステージ



市民活動団体が日頃の成果を披露します。歌、演奏、手品、劇など素敵なステージを1日中お楽しみいただけます。
※写真は昨年の様子です

謎解きラリー



会場内のいろいろな場所に隠されているキーワードを集めていただいた方に景品をプレゼントします。

協力：浦和大学

助成金情報

【市民活動全般】

①「地域助け合い基金」/
公益財団法人さわやか福祉財団
[常時受付]

【地域福祉】

②第38回わかば基金/
NHK厚生文化事業団
[2026年3月26日(木)まで受付]



①



②

お問い合わせ
はコチラ

さいたま市市民活動サポートセンター

(指定管理者；公益財団法人さいたま市文化振興事業団)

所在地：〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町11-1 コムナーレ9階

TEL：048-813-6400

FAX：048-887-0161

開館時間：9時～21時30分

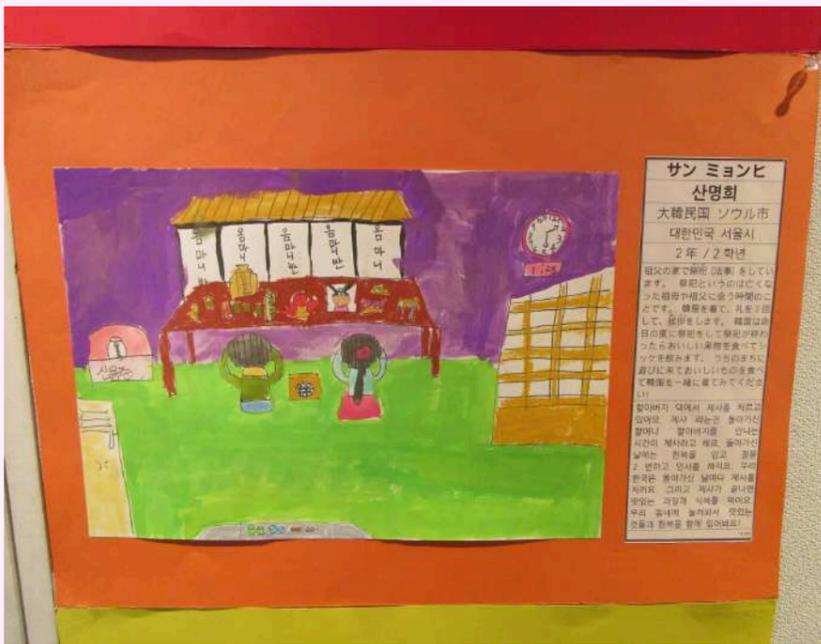
多目的展示コーナー取材：

南北 코리아と日本のともだち展 inさいたま



令和7年12月12日から15日にかけて、東アジアの子どもたちの心がつながる事を願って開催された『2025 南北 코리아と日本のともだち展inさいたま』を訪れました。

この展示会では、日本・韓国・朝鮮をはじめとする各国の子どもたちが描いた絵画が紹介され、会場には折り紙や小皿作りを体験できるワークショップも設けられていました。子どもたちの自由な発想と温かなメッセージが込められた作品の一部を紹介します。



▶大韓民国（韓国）

韓国のパートナー団体『オリニオッケドム』の協力で作品を集めました。オリニオッケドムとは、「肩を組むともだち」という意味です。



▶中国（延吉朝鮮族自治州）

中国からは朝鮮族の多く暮らしている地域の子もたちが、図書館で描いた作品です。



▶朝鮮民主主義人民共和国（朝鮮）

朝鮮の首都平壤の小学校に通う子どもたちの作品です。



↑『南北 코리아と日本のともだち展inさいたま』会場全体図

主催団体：「南北 코리아と日本のともだち展inさいたま」実行委員会

▶ フラワーセラピー研究会 埼玉地区

お花というと伝統的でかしこまった生け花を思い浮かべる人もいるかもしれませんが。人々が協働し、会話を交わし、それぞれの生きがいを見出すプロセスとしての「花」へ目を向けてみましょう。



Q.どのような団体？

- ・養成講座を受けた「フラワーボランティア」による **フラワーセラピー教室** を定期的で開催しています。
- ・サポフェスでは体験活動や作品販売も行っています。

この市民活動団体は、東京・横浜・大阪など日本全国で幅広く活動しています。埼玉では、おおよそ21人体制で20年以上もの間活動を続けられています。

活動理念

ボランティア：本日はよろしくお祈いします。早速ですが、活動について簡単に教えてください。

代表 吉田さん：私たちは、高齢者施設や障がい者支援センター、学校など、埼玉県内の様々な場所でフラワーセラピー教室を開いています。「セラピー」というと療法というイメージだと思うんですけども、普通にただお花をアレンジする訳ではありません。

ボランティア：具体的には、どのような違いがあるのですか？

代表 吉田さん：花の癒しの力で、明日への生きる力を育む、という事です。私自身、リーダーとして季節に合わせた作品を作った際、準備が結構大変で、喜んでいただけるか心配でした。最終的に成功した事は、こちらとしても非常に嬉しかったですね。



↑今年のサポフェスにて、フラワーセラピーの体験会や作品の販売が予定されています！売上金は能登地震のあった石川県へ寄付されるそうです。

満足できる教室に

ボランティア：これらの作品、凄く綺麗ですね。しかし、簡単に作れるようなものなんでしょうか？

代表 吉田さん：見本を見ても、感覚的にパッと作る事は難しいと思います。また、参加者さんの中には、手が不自由な方もいらっしゃるので、私たちが適宜お手伝いをしています。

代表 吉田さん：他のアレンジ教室さんとは違って、「こういう形に活けてください」とは言いません。好きなように、お花を楽しんで貰っています。

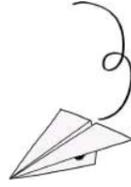
ボランティア：完成した作品はどうするのですか？

代表 吉田さん：1人1人の作品を皆さんにお見せする発表会を行います。その中で、「素敵」「可愛い」と褒めてもらえる嬉しいんですよね。自分の作品が一番良い、そんな満足感に繋がっていると思います。

ボランティア：それが、先ほどの「花でコミュニケーション」という事ですね。

代表 吉田さん：そうですね。お花をアレンジしている最中も、「自分との対話」「花との対話」「周りとの対話」を通して、良い刺激を得られると思いますよ。手先を使うリハビリテーション効果なども期待できますね。

今日から昔遊び職人！ 手作り道具で昔遊び体験



2月7日に浦和コミュニティセンターの第15集会室で行われた「手作り道具で昔遊び体験講座」に参加しました。

“昔遊びを楽しむ会”代表の秋山さんから身近なもので出来るおもちゃの作り方を習い、小学生とその保護者で楽しみました。

この日はまず、“手品仕掛けのおりがみ”が配られ、さまざまに折りながら、出てくる絵にみなさん驚いた様子でした。次にストローを使った“ストローとんぼ”(竹とんぼのようなもの) やおりがみで3種類の紙ひこうきを習いました。

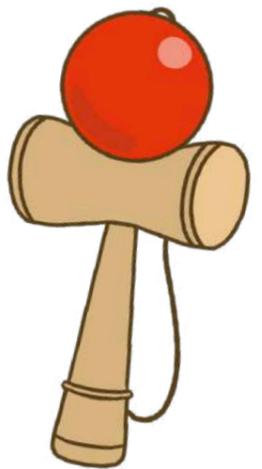


みなさん自分が作ったおもちゃで、夢中になって飛ばして遊んでいました。手作りする最後のおもちゃは“リボンメダル”で、きれいな色のリボンで作るメダルは、特に女の子に人気でした。

会場には所狭しと並べられた、昔ながらのおもちゃがあり、けん玉、わりばしてっぼう、ベーゴマなどを体験して、のびのびとした様子で駆け回っていました。普段はあまり目にしない数々のおもちゃに囲まれて目移りしながら、参加者のみなさんは楽しんだ様子でした。

代表の秋山さんは、夢中になって遊んでいるお子さんたちを見つめながら、「今もむかしも子どもといっしょになって遊ぶことが生きがいだ」と話していました。

参加者みんなが、“こども”になった体験講座でした。



※令和8年度分 団体ロッカー・メールボックス 利用について

2月26日（木）までに令和8年度団体ロッカー及びメールボックスの利用希望書を提出された団体の結果については、**3月12日（木）**に館内掲示・ホームページ「さポット」でお知らせいたします。使用料のお支払期間は**3月14日（土）～3月31日（火）**です。

※令和7年度でロッカー等の利用を終了される団体や、令和8年度から異なる位置の利用となる団体におかれましては、3月31日（火）17：00までに元のロッカーから荷物を搬出していただくようご協力をお願いいたします。

大切なお知らせ！

当センターでは昨今の郵送費値上げによる経費の増加や、環境保全を目的とした紙の使用量を削減する取り組みの一環として、来年2027年よりハガキによる通知を廃止いたします。

令和9年度以降のロッカー利用申し込みに関するお知らせは館内掲示または公式ホームページ「さポット」やXでのご案内のみとなります。何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

さいたま市 市民活動 サポートセンター

（指定管理者；公益財団法人さいたま市文化振興事業団）
所在地：〒330-0055

さいたま市浦和区東高砂町11-1
コムナーレ9階

お問い合わせ先:

TEL：048-813-6400

FAX：048-887-0161

開館時間：9時～21時30分